

令和 6 年度 第 1 回山口県道路交通渋滞対策部会
議事概要

1. 開催日 令和 6 年 8 月 3 0 日（金）

2. 開催方法 書面開催

3. 出席者（書面確認者）

[委員] ※敬称略

佐々田 敬久	国土交通省中国地方整備局企画部	広域計画課長
亀岡 敬和	国土交通省中国地方整備局道路部	道路計画課長
安部 学	国土交通省中国地方整備局道路部	地域道路課長
伊藤 等	国土交通省中国地方整備局道路部	交通対策課長
田村 桂一	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	所長（部会長）
大西 良平	国土交通省中国地方整備局山陰西部国道事務所	所長
三浦 裕寿	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	計画課長
中岡 浩太	国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所	交通対策課長
大林 元	国土交通省中国運輸局交通政策部	環境・物流課長
舘 昭憲	国土交通省中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官
阪本 良夫	西日本高速道路株式会社中国支社	企画調整課長
中本 広志	山口県警察本部交通規制課	交通規制課長
嶋原 徹雄	山口県土木建築部	道路整備課長
正木 征利	山口県土木建築部	道路建設課長（副部会長）
菊田 武志	山口県土木建築部	都市計画課長
毛利光 伸二	山口県トラック協会	専務理事
藤原 徳行	山口県バス協会	専務理事
丸山 浩	山口県タクシー協会	専務理事

4. 議事

- (1) これまでの検討経緯
- (2) 主要渋滞箇所解除フロー
- (3) 主要渋滞箇所のフォローアップ
- (4) 主要渋滞箇所の特定解除
- (5) 渋滞対策の効果検証
- (6) 道路利用者団体と連携した渋滞対策
- (7) ニューノーマル時代における交通需要マネジメントの検討
- (8) 観光地渋滞対策「ぐるっと！！」

5. 議事概要

- (1) これまでの検討経緯を説明。
- (2) 昨年度に承認された主要渋滞箇所解除フローの再確認。
- (3) 最新の ETC2.0 プローブデータ（令和 5 年 4 月から令和 6 年 3 月データ）を用い、主要渋滞箇所の渋滞状況変化について報告。
※解除フローの観点①（対策実施済みで主要渋滞箇所の指定要件を下回る）に該当する解除候補箇所は、錦見交差点（岩国市）、下岡交差点（宇部市）、唐戸交差点（下関市）の 3 箇所
- (4) 対策実施による主要渋滞箇所の渋滞状況変化について報告。
錦見交差点（停止線の前出し、森ヶ原 B P 開通による交通の転換）
下岡交差点（信号制御方式の変更）
唐戸交差点（右折交通の整流化対策）

現地確認において、渋滞緩和を確認 ⇒今回、解除を提案し、承諾

- (5) 国道9号神田町交差点（山口市）における渋滞対策の効果検証
- (6) 道路利用者団体と連携した渋滞対策として「国道2号室の木1丁目交差点」検討を説明
- (7) 山口市中心部におけるノーマイカーデーに関連する取組の紹介
県道山口防府線における道路渋滞対策の実施状況の紹介
- (8) 下関市唐戸地区における観光地渋滞対策の取組状況の紹介
令和6年度の取組の効果検証
今後の対応方針の提案

〈委員からのご意見〉

- (7) ニューノーマル時代における交通需要マネジメントの検討
 - ・県道山口防府線における渋滞対策は、中央交差点や山口駅入口交差点等の山口市内の主要渋滞箇所の渋滞緩和にも資する取組であり、山口防府線沿線などの今後の土地利用の変化によっては更なる渋滞発生も想定されることから、部会員等のご意見・ご助言をいただきながら、引き続き効果的な渋滞対策となるようハード・ソフト両面からの検討を進める必要があると考えている。
- (8) 観光地渋滞対策「ぐるっと！！」
 - ・下関市唐戸地区の交通対策については、観光庁の「令和6年度オーバーツーリズムの未然防止抑制による持続可能な観光推進事業」に「一般社団法人からまち」から申請があり、採択されている。そのため、今後観光地渋滞対策「ぐるっと！！」と連携を図れる箇所については、積極的な連携を進めていく必要があると考える。
 - ・駐車場から目的地（唐戸市場）まで遠い（徒歩20分）ため、夏季や冬季は無料の連絡バスの活用も検討してはどうか。
- (9) その他
 - ・残る主要渋滞箇所のうち、今後対策内容を検討予定の箇所や対策後に特定解除に至っていない箇所等について、TDM等の効果的な事例も参考にし、緩和・解除に向けた効果的な対策を検討していく必要があると考える。